第5次総合振興計画事	令和 5 年度					提 出 日 R5.6.28		
	担関が		長生き支援調長生き支援が					
1 事業概要			当記	入者名		70 9		
(1)事業名 総合相談事	業		(2)事業 (新規・		継続 (3)事業 (政策・			
 (4)第5次総振での位置 [~]	づけ			·財源等		刊又/		
①基本目標健康で安心し		医療・福祉の充	実〉 ①会計	区分	介護保険特金	<u> </u>		
②大項目 高齢者福祉 ③中項目 高齢者の尊	<u>は・介護保険</u> 『厳を保つサービ	②財源 ③予算		国県補助 款 3 項	2 目 1			
4施策 相談体制 <i>0</i>				総合相談事業				
⑤施策コード 5.4.3.2	掲載ページ	<u> </u>	•	松口怕談事	*			
(6)実施根拠 ①事務分類(自治·受託	(7)総合 ①総合		無					
②根拠法令 介護保険法	②根拠法令 介護保険法					_		
③事業期間 開始 3 2 事業の目的・対象及	F成18 年 4	<u> </u>	未足	定 年	月まで			
(1)目的(何のために行う			(3)手段(内容	౾・どの。	ような取り組み	か)		
地域の高齢者が住み慣	カた地域で安心	アスの						
らしい生活を継続してい			 在宅介護支持	受センタ-	ーへ委託			
け、適切なサービスや制	度利用につなけ	る支援を行	土日·祝日·花	支間は地	域包括支援セ	?ンターへ委託		
う。								
(2)対象(誰に対して、何	に対して行うか)		(4)成果イメー	ジ(どのよ	うな状態になる	ことを目指すか)		
			心西北世地	・扣製り	サービスを利用	田才スーレベ		
おおむね65歳以上高齢	ì者				ザーロスを利り してその人らし			
11 亿 业	201	4 / _	続できるよう					
対象数 11 (5)事業を取り巻く環境(,	位 人	3.4 菜人生	、この 画	ナロナへは			
(3) 争未で取り合く環境((社 云	<u>ーー</u> 人寺/、[当 冲、 硪云守人	いりの安	宝なと			
高齢化率の上昇に伴い、独居高齢者、高齢者世帯、認知症高齢者、要介護認定高齢者が増加し、支援								
	を必要とする高齢者が多くなってくる。支援が必要な高齢者に、必要な時期に必要なサービスとつなげらした。これが関係される。							
を必要とする高齢者が多	ろくなってくる。支							
を必要とする高齢者が多れることが期待される。	ろくなってくる。 支							
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6)SDGsへの貢献								
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6)SDGsへの貢献 3 #AXERAL 10 AXERCEPT	11 (EARITORS							
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6)SDGsへの貢献								
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 (EARITORS		高齢者に、必要					
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 (LARITORIA) 11 (LARITORIA) 12 (LARITORIA) 13 (LARITORIA) 14 (LARITORIA) 15 (LARITORIA) 16 (LARITORIA) 17 (LARITORIA) 17 (LARITORIA) 18 (LARITORIA) 18 (LARITORIA) 19 (LARITORIA) 19 (LARITORIA) 11 (L	援が必要な高	高齢者に、必要					
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 1X150AL - W	11 (LARITORIA) 11 (LARITORIA) 12 (LARITORIA) 13 (LARITORIA) 14 (LARITORIA) 15 (LARITORIA) 16 (LARITORIA) 17 (LARITORIA) 17 (LARITORIA) 18 (LARITORIA) 18 (LARITORIA) 19 (LARITORIA) 19 (LARITORIA) 11 (L	援が必要な高	高齢者に、必要	で で で で で で で で で で で で で で				
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 1X150AL - W	11 監視的語名	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決	高齢者に、必要) 第 R3年度 0	を時期 - 大算 F 0	に必要なサー R4年度決算 0	ビスとつなげら		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 # # # # # # # # # # # # # # # # # #	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決	高齢者に、必要) 第 R3年度 0 0	を時期 大算 F	に必要なサー R4年度決算 0 0	ビスとつなげら		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 **********	11 計	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決	京齢者に、必要) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大算 F 0 0 0 0	R4年度決算 0 0 0 0	ビスとつなげら R5年度予算 0 0 0		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 (Partition & Partition &	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決:	高齢者に、必要) (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大算 F 0 0 0 0 1,677	R4年度決算 0 0 0 0 1,599	ビスとつなげら R5年度予算 0 0 0 1,906		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 (PANITION A)	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決:	高齢者に、必要 () () () () () () () () () () () () ()	大算 F 0 0 0 0 1,677	R4年度決算 0 0 0 0 1,599 0	ビスとつなげら R5年度予算 0 0 0 1,906 0		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 1015444	11 *****(ジャン・	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決 1,5	京齢者に、必要) (1) (2) (3) (4) (5) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大算 F 0 0 0 0 1,677 0 1,677 645	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616	ビスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 1,906 734		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 185645 - 小 マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 程度的 第·決算) 総合相談事業 R元年度決算 0 0 2,139 0 2,139 823 412	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決 1,5	京齢者に、必要) (1) (2) (3) (3) (4) (5) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	大算 F 0 0 0 0 1,677 0	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308	ビスとつなげら R5年度予算 0 0 0 1,906 0		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 185645 - 小 マー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 \$25000	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決: 1,5 1,5	高齢者に、必要 () () () () () () () () () () () () ()	大算 F 0 0 0 0 1,677 645 323	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0	ビスとつなげら R5年度予算 0 0 0 1,906 0 1,906 734 367 0		
を必要とする高齢者があることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 #35(で)を ・決算) 総合相談事業 R元年度決算 0 0 2,139 0 2,139 412 0 492 412	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決: 1,5 1,5 2	京齢者に、必要 () () () () () () () () () () () () ()	大算 F 0 0 0 0 1,677 0 0 1,677 0 323 386 323	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308	ドスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 734 367 0 438 367		
を必要とする高齢者がある。 (6) SDGsへの貢献 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7 第·決算) 総合相談事業 R元年度決算 0 0 2,139 0 2,139 412 0 492	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決: 1,5 2	京齢者に、必要 () () () () () () () () () () () () ()	大算 F 0 0 0 0 1,677 0 0 1,677 0 323 0 386 323 1,677	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308 1,599	Eスとつなげら R5年度予算 0 0 0 1,906 734 367 0 438		
を必要とする高齢者が多れることが期待される。 (6) SDGsへの貢献 3 ***********************************	11 #35(で)を ・決算) 総合相談事業 R元年度決算 0 0 2,139 0 2,139 412 0 492 412	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決: 1,5 2	京齢者に、必要 () () () () () () () () () () () () ()	大算 F 0 0 0 0 1,677 0 0 1,677 0 323 0 386 323 1,677	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308	ドスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 734 367 0 438 367		
を必要とする高い。 (6) SDGsへの貢献 (6) SDGsへの貢献 (7) 事業のコスト(実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 () () () () () () () () () (援が必要な高 (単位:千円 R2年度決 1,5 1,5 2	京齢者に、必要 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注	大算 F 0 0 0 1,677 0 1,677 645 323 0 386 323 1,677 寸金(国	R4年度決算 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308 1,599 ・県)	ドスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 0 1,906 734 367 0 438 367 1,906		
を必要とする高い。 (6) SDGsへの貢献 (6) SDGsへの貢献 (7) 事業のコスト(実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 *****(ジャン・	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決 1,5 1,5 2	京齢者に、必要) (1) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7)	大算 F 0 0 0 0 1,677 645 323 0 386 323 1,677 寸金(国	R4年度決算 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308 1,599 ・県)	ドスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 734 367 0 438 367 1,906		
を必要とする高い。 (6) SDGsへの貢献 (6) SDGsへの貢献 (7) 事業のコスト(実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 記号できる。 「「「「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決 1,5 1,5 2 2,3	第齢者に、必要 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注	大算 F O O O O O O O O O O O O O O O O O O	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308 1,599 ・県)	ドスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 734 367 0 438 367 1,906 0.1 770 2,676		
を必要とする高い。 (6) SDGsへの貢献 (6) SDGsへの貢献 (7) 事業のコスト(実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11 *****(ジャン・	援が必要な高 (単位:千円 R2年度決: 1,5 1,5 地域 2,5 11,2	第齢者に、必要 (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注	大算 F O O O O O O O O O O O O O O O O O O	R4年度決算 0 0 0 1,599 0 1,599 616 308 0 367 308 1,599 ・県)	ドスとつなげら R5年度予算 0 0 1,906 734 367 0 438 367 1,906		

4	指標の検証(活動指標・成果指標)	総合相談事業				
	指標名			R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算
(1	(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)					
		目標値				
+E		実績値				\bigvee
指標		達成率				\bigvee
名		目標値				
		実績値				$>\!\!<$
		達成率				>>
(2)成果指標(実施した結果として得られた)	 成果の量と	達成度	:人数、世帯数、化	牛数、団体数、コス	スト指標等)
	老年人口における要支援認定者比率	目標値	%	3	3	3
坮	(総振目標指標p89)	実績値	%	3.5	3.6	$>\!\!<$
指標	R7年度目標值 3.0%	達成率	%	85.7	83.3	\searrow
夕	休日·夜間の相談件数	目標値	件	12	20	20
		実績値	件	40	33	\bigvee
		達成率	%	333	165.0	\sim
(3)その他指標に狙れたい成里			_		

(3)その他指標に現れない成果

5 事業評価

(1)項目別評価								
評価項目 評価		評価	評価理由	評価した理由を選択してください。				
必要性 事業の必要性	1	 必要性は高い どちらともいえない 必要性が低い 	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている				
				2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である				
				3 その他()				
宝施主体の		1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い		1 事業の主体が関係法令等で定められている				
妥当性 ————	1			2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である				
				3 その他()				
手段の妥当性	1	1 妥当である2 どちらともいえない3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している				
				2 他に有効な代替手段が見当たらない				
				3 その他()				
効率性 コスト効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している				
				2 サービス単価を維持している				
八兵以勿十江		3 効率圧が低い		3 その他()				
公平性 受益者の偏り		1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている				
受益者の偏り	1			2 おおむね公平に分配されている				
3 1mm 977	5 pm 7.5 05 0		3 その他()					
有効性 成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている				
				2 成果指標は、前年度より向上している				
				3 その他(休日·夜間の相談件数は実績値が上回ったが、要支援認定者比率は下回った)				
事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である	1	1 年度内に予定した事業は完了した				
				2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した				
		3 あまり順調に進んでいない		3 その他()				
	評価項目 事業の必要性 実施主体の 妥当性 手段の妥当性 人員の効率性 人員の効率性 受益者の偏り 成果の向上	評価項目 事業の必要性 1 実施主体の 1 手段の妥当性 1 「一	評価項目 評価 事業の必要性 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い 実施主体の 妥当性 1 2 当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い 手段の妥当性 1 2 ※当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い コスト効率性 人員の効率性 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い 受益者の偏り 1 に関リばない 2 どちらともいえない 3 偏りがある 成果の向上 2 にならともいえない 3 成果が上がっている 2 をちらともいえない 3 成果が下がっている 3 成果が下がっている 1 原間に進んでいる	評価項目 評価 評価 評価 理由 事業の必要性 1 2 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い 1 ま施主体の 妥当性 1 2 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い 1 3 妥当性が低い 1 3 スト効率性 1 2 どちらともいえない 3 次事性が低い 2 グラらともいえない 3 効率性が低い 2 があかともいえない 3 効率性が低い 2 である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い 2 があらともいえない 3 効率性が低い 1 1 成果の向上 2 1 成果が上がっている 2 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている 3 成果が下がっている 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				

(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)

独居高齢者や高齢者夫婦のみの世帯が増加しており、更に認知症、障害、貧困など様々な問題を抱えた家庭が増えている。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、休日や夜間も含めて24時間相談・支援が受けられる体制を整え、今後も在宅介護支援センターや地域包括支援センターと連携して行く必要がある。

6 事業の方向性の	<mark>の判断</mark> 1	拡充 2 現状維持 3 縮	小・統廃合
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)
評価	2		
説明	独居高齢者や認知症高齢者 等の増加等により困難な相談 事例が年々、増加している。さ らに相談体制を強化し、住民 の安心につなげる。		